

授業情報／Course Information

戻る

● 授業基本情報

科目名／Course Title	平和を考える B／Lecture about peace with some viewpoint B		
担当教員／Instructor	栗生田 忠雄，鈴木 賢治，中野 博章，永野 博彦，小泉 明子，平賀 典子，藤堂 史明，渡辺 英雄，後藤 真一		
対象学年／Eligible grade	1，2，3，4，5，6	開講番号／Registration Code	240G3758
講義室／Classroom	総合教育研究棟 B-255	開講学期／Semester・Term	2024年度／Academic Year 第3,4ターム／the third and fourth term
曜日・時限／Class Period	水/Wed 3限	単位数／Credits	2
授業形態／Class Format	講義	科目区分／Category	新潟大学個性化科目 自由主題／Niigata University Original Subjects Other Themes
副専攻／Minor	副専攻「外国語（コリア）」，「コリア」	定員／Capacity	150
分野／Academic Field	75：新潟大学個性化科目	水準／Academic Standard	03：全学学生受入可・大学基礎水準
抽選方式／Selection Method	手動		
実務経験を有する教員が実施する科目／Conducted by instructor with work experience related to the field?		遠隔授業の実施形態／Remote Class Style	

● 授業概要情報

更新日／Updated on	2024/02/16
対象学部等／Eligible Faculty	全学部 / 全学年
聴講指定等／Designated Students	「平和を考える A」を未受講であること。
科目の概要／Course Outline	今日，日本における「平和」は第2次世界大戦の末期の広島・長崎の原爆投下にはじまり，戦争の反省と恒久平和への願いをもとに語られ，様々な取り組みとなってきました。現代の「平和」問題は，単に戦争や紛争のない状況にとどまらず，核開発，原発，経済の南北格差，環境破壊，エネルギー，食糧など多岐にわたります。本講義では，上記の平和問題を，人文社会，自然科学のスタッフが専門に根ざして多角的に問題提起します。 この講義を通じて，「平和」が単に紛争のない状態にとどまらず，私たちの日常生活のさまざまな側面に深く関わっていることを学びます。また，科学の発展が人類の幸福に役立てるよう，自らの専門知識に責任がもてる見識を育むことを目的とします。
科目のねらい／Course Objectives	戦争と平和，紛争の歴史，人権や地方自治などについての基礎知識を備え，市民として求められる「平和」に関する見識を身につけることを目標とします。
学習の到達目標／Specific Learning Objectives	1. 日本と世界の戦争と平和についての歴史，現実について，論述できること。 2. 講義の学習・刺激，また学生同士の啓発を通じて，平和について，自主学習をすすめること。 3. 自らの考えを育み発表できること。 を目標とします。
登録のための条件(注意)／Prerequisites	平和について，真剣に考えようという姿勢がある人を前提とします。副専攻平和学をめざす人を除いて，「平和を考えるA」，を聴講済の人は重複して受講できません。 また各種感染症の状況により非対面講義になることがります。その場合，主にZoom会議システムを用いたリアルタイム型オンライン講義とします。最終回は，グループ討論，および全員参加での平和について討論します。
授業実施形態について／Class Format	講義
成績評価の方法と基準／Grading Criteria	2 / 3 以上の出席は必要条件。レポート課題を課します。レポートの内容（75％）と平素の学習態度（25％：感想、ミニレポート、討論への参加・発言等）により評価する。 レポートの記述は，以下の点を留意する。 1) レポートと感想文は異なる。 2) 事実にもとづいて「である調」で論述する。 3) 意見と事実の区別を明確にする。 4) 起承転結の形式をとる（項目毎に見出しを付す）。 5) 引用元を明記する。
使用テキスト／Textbooks	なし。
関連リンク／Related Links	
参考文献／References	

キーワード ／Keywords	
備考 ／Notes	【授業実施形態】 基本的に対面式講義。ただし、感染症の状況で変化する。非対面の場合、オンライン会議システムを用いたリアルタイム型授業とする。評価は、レポート（A4サイズ、5枚以上、手書き）で行う。

●授業計画詳細情報

No.	内容 ／Content	授業時間外の学修 ／Out-of-Class Study	備考 ／Notes
1	ガイダンス：講義の日程・計画・予定の説明、環境アセスメントと沖縄の軍事基地（粟生田忠雄：農）	今の日本は平和であるか？ 「平和」とは？ 1995年9月4日に沖縄県で起きた暴行事件について予習。	感染症等の対策のため、非対面講義となることがあります。
2	水・食料の配分と平和（粟生田忠雄：農）	食料の量・質は十分か？この理由は？	
3	地球環境危機に対して私たちにできること（永野博彦：農）	温暖化ガスとは？	
4	日常生活の課題を化学の観点から考える（後藤真一：理）	環境化学物質とは？	
5	原発と地域経済（藤堂史明：経）	新潟県柏崎市、刈羽村の地域経済について予習。	
6	原発事故から原発問題を考える（中野博章：理）	放射性物質の処理能力を予習。	
7	巻原発住民投票（鈴木賢治：教育）	日本初の住民投票条例を予習。	
8	原子力発電のしくみ（鈴木賢治：教育）	なぜベースロード電力が必要か予習。	
9	現代における「平和」日本国憲法をめぐる-1（小泉明子：教育）	憲法前文を読む。	
10	現代における「平和」日本国憲法をめぐる-2（小泉明子：教育）	自由民主党の改憲案を読む。	
11	愛国心教育と憲法（渡辺英雄：経）	愛国心教育とは？	
12	無差別大量殺戮としての核戦争・被爆の実相について学ぶー核攻撃目標のひとつとしての新潟ー（赤井純治：元理）	被爆とは？核の冬とは？	
13	香害という公害-1（平賀典子：外部講師）	洗剤、柔軟剤の香りによる健康被害の実態とその背景を知る。	
14	香害という公害-2（平賀典子：外部講師）	洗剤、柔軟剤の香りによる健康被害の実態とその背景、当事者との質疑。	
15	平和な社会実現のための総合討論（粟生田忠雄：農）	前半；グループ討論（テーマをセレクトし自分の意見をまとめておく）。後半；全員参加による総合討論。	